

【危険物製造所 完成検査申請】

概要: 新規原料に伴う製造プラント、機器配管、倍数変更

事例3

号	項目	提出	備考
1	申請書	●	
2	委任状	●	
3	完成検査要領書	◆	
4	基礎・配筋施工写真	◆	
5	埋設施工時の写真	—	
6	非破壊検査記録	—	
7	水張・水圧検査済証	◆	
8	水張検査前後の沈下測定結果	—	
9	底板の裏面防食施工の写真	—	
10	耐圧試験結果	◆	
11	消防用設備等試験結果報告・検査記録写真	◆	
12	接地・絶縁抵抗測定成績書	◆	
13	防火設備の認定番号等の資料	—	
14	製造者の検査結果証明書	◇	

【凡例】 ●:提出あり(事例添付あり) ◆:現場確認のみ(事例添付有り) ◇:現場確認のみ(事例添付無し) —:提出なし(非該当)

1. 申請書

副 製造所 危険物 完成検査申請書
~~貯蔵所~~
~~取扱所~~

平成 30 年 8 月 22 日

川崎市長 福田 紀彦 殿

申請者 住所 []
 氏名 [] 工場長

設置者 住所 []
 氏名 []

設置場所 []

製造所等の別 製造所 貯蔵所又は取扱所の区分 808.77 倍

設置又は変更の許可年月日及び番号 平成 29 年 10 月 6 日 第 [] 号
 平成 30 年 2 月 14 日 第 [] 号

製造所等の完成期日 平成 30 年 8 月 31 日

使用開始予定期日 完成検査済書交付後

※ 受付欄 ※ 経過欄 ※ 手数料欄

川崎市消防局 予防部危険物課
 受 30.8.22 付
 第 [] 号

検査年月日 []
 検査番号 []

【申請者】
 ✓ 設置場所の住所と工場長名

【設置者氏名】
 ✓ 事業者名、役職及び氏名

【指定数量の倍数】
 ✓ 必ず記載すること
 ✓ 変更許可申請書と同じ倍数

【変更の許可年月日及び番号】
 ✓ 変更許可書に記載された年月日及び番号を記載。
 ✓ 複数の変更許可を1回の完成検査で受検する場合は複数の変更許可を記載。

- 備考
- この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
 - この完成検査申請書は、移送取扱所以外の製造所等に用いるものであること。
 - 法人にあつては、その名称、代表者氏名及び主たる事務所の所在地を記入すること。
 - ※印の欄は、記入しないこと。

2. 委任状

委 任 状

私は [] 工場
工場長 [] を代理人と定め、次の事項を委任する。

【委任状】

- ✓ 原本を提出していれば、次回からはカラーコピーの添付でよい。
- ✓ 代表取締役社長が対象工場長を委任する。

1. [] 工場の危険物に関し、消防法上必要な
諸申請を行う一切の件

以 上

平成27年4月 [] 日

[] 号
[] 会 社
代表取締役 社長執行役員 []

3. 完成検査要領

<p style="text-align: center;">完成検査要領[変更許可申請]</p> <p>日時 : 2018年 月 日() 13:30~17:00 対象設備: 危険物製造所([] 設備)</p> <p>【スケジュール】</p> <p>13:40~ 当該設備の概要説明 13:50~ 書類確認 14:20~ 現場確認 15:30~ 休憩 15:45~ 消火設備放水テスト、自火報発報テスト 16:30~ まとめ</p> <p style="text-align: right;">1</p>	<p>【完成検査要領】</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 完成検査日が決まってから消防局に事前説明を実施します。 ※申請内容により消防局または消防署が完成検査を行います。 ✓ 申請書類との整合性確認項目 <p>【書類確認項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・危険物配管の耐圧検査結果 ・危険物取扱機器の接地抵抗結果 ・20号タンクの基礎・防液堤配筋写真 ・屋根避雷導体設置写真(安全上写真でのご説明) ・泡消火設備、自動火災報知設備試験結果報告書 <p style="text-align: right;">2</p>
<p>【現場確認項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・危険物配管の施工状況 ・危険物取扱機器の設置状況 ・危険物製造所の区画確認・実測 ・保有空地の確認・実測 ・20号タンクの基礎・防液堤実測 ・危険物施設看板(倍数)・仮使用看板の確認 ・建築物状況確認 <ul style="list-style-type: none"> *照明、換気設備 *防液堤、機器開口立上り、開口部仕舞い、溜め枡 *柱耐火被覆 ・消火設備の設置状況確認 <ul style="list-style-type: none"> *泡消火ヘッダー位置、消火配管ルート、泡ヘッド位置 *自火報位置 <p style="text-align: right;">3</p>	<p>【固定式泡ヘッド放水テスト】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・放水試験 最大系統の4階・5階系統を対象 ・通気試験 各階/[]/[]/20号タンク系統を対象 <p style="text-align: center;">※試験方法詳細については別紙参照。</p> <p>【自火報設備発報テスト】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感知器、発信機能試験 <p style="text-align: right;">4</p>

3. 完成検査要領（固定式泡消火設備完成検査）

1. 目的

本書は、**〇〇〇〇〇〇〇〇〇**工場向け **〇〇〇〇〇〇〇**泡消火設備の完成検査要領について記載いたします。

2. 対象設備

- 1) **〇〇〇〇〇〇〇**設備 増築部分 泡消火設備

3. 試験実施予定日

- 1) 社内検査：平成30年 8月30日 放水試験、通気試験
- 2) 消防検査：平成30年 9月 3日 放水試験、通気試験

4. 試験場所

- 1) 放水試験
 - ・ **〇〇〇〇〇〇〇**設備における今回申請対象の4・5階系統（最大系統）にて実施する。
- 2) 通気試験
 - ・ **〇〇〇〇〇〇〇**設備における今回申請対象の1F、2F、3F、CV801系統を夫々確認実施する。

5. 判定基準

- 1) 放水試験
 - ・ NHO31A泡ヘッド標準放射圧力0.3MPaを確保していること。
- 2) 通気試験
 - ・ 泡ヘッドより通気されていること。（吹き流しにて確認）

6. 試験要領

別紙放水試験及び通気試験の要領図により実施する。

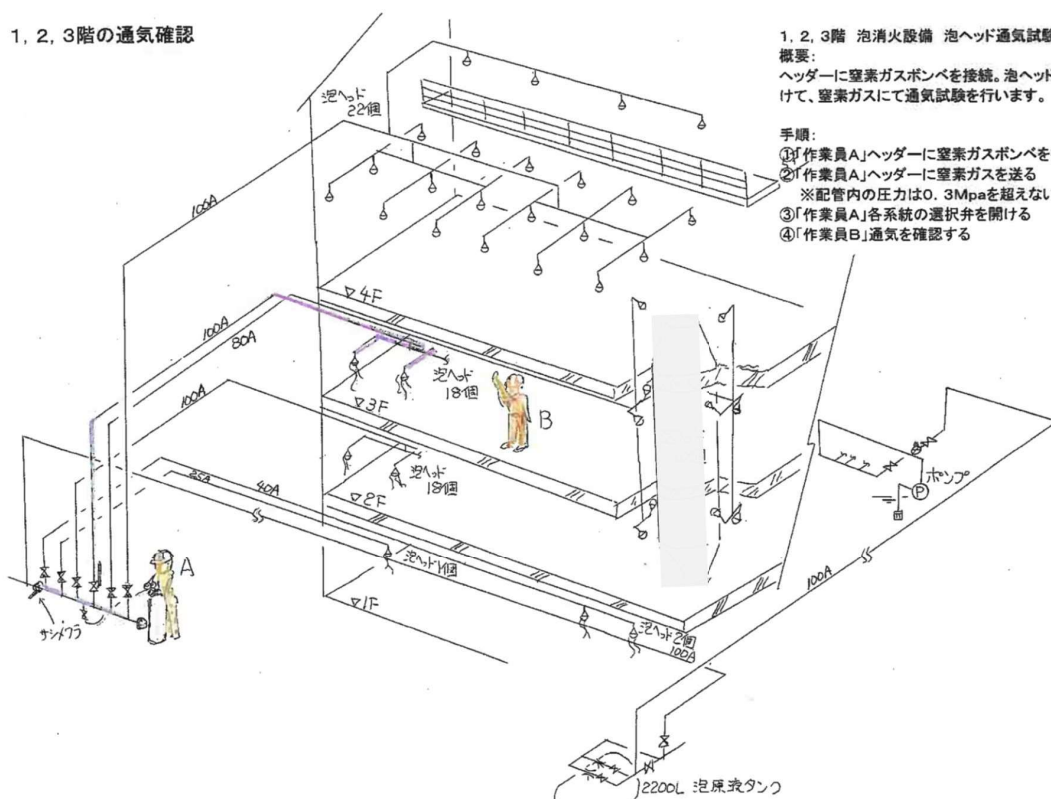
以 上

添付資料

- 1) 4・5階 泡消火設備 放水試験の要領
- 2) 3階 泡消火設備 通気試験の要領
- 3) **〇〇〇〇〇〇〇** 泡消火設備 通気試験の要領
- 4) NHO31A型 フォームヘッドガイドブック（技術資料）

3. 完成検査要領（固定式泡消火設備完成検査）

1, 2, 3階の通気確認



1, 2, 3階 泡消火設備 泡ヘッド通気試験について
概要：
ヘッダーに窒素ガスポンペを接続。泡ヘッドに吹き流しを付けて、窒素ガスにて通気試験を行います。

- 手順：
- ①「作業員A」ヘッダーに窒素ガスポンペを接続
 - ②「作業員A」ヘッダーに窒素ガスを送る
※配管内の圧力は0.3Mpaを超えないようにする
 - ③「作業員A」各系統の選択弁を開ける
 - ④「作業員B」通気を確認する

4. 基礎・配筋施工写真

【基礎配筋記録写真】
 ✓ 配筋の径、ピッチが分かるような写真を添付

記録写真

PAGE 1

工事名: 既存設備機械基礎工事

撮影年月日: 平成30年4月5日

05(20号タンク) 基礎配筋図
ポンプ立上り配筋写真
(写真 - 1)

撮影年月日: 平成30年4月5日

05(20号タンク) 基礎配筋図
ポンプ基礎配筋写真
(写真 - 2)

撮影年月日: 平成30年4月5日

05(20号タンク) 基礎配筋図
防液堤基礎配筋写真
(写真 - 3)

記録写真

PAGE 2

工事名: 既存設備機械基礎工事

撮影年月日: 平成30年4月5日

05(20号タンク) 基礎配筋図
防液堤基礎配筋写真
(写真 - 4)

撮影年月日: 平成30年4月5日

05(20号タンク) 基礎配筋図
20号タンク基礎配筋写真
(写真 - 5)

撮影年月日: 平成30年4月5日

05(20号タンク) 基礎配筋図
防液堤立上り基礎配筋写真
(写真 - 6)

7. 水張・水圧検査済証 (20号タンク)

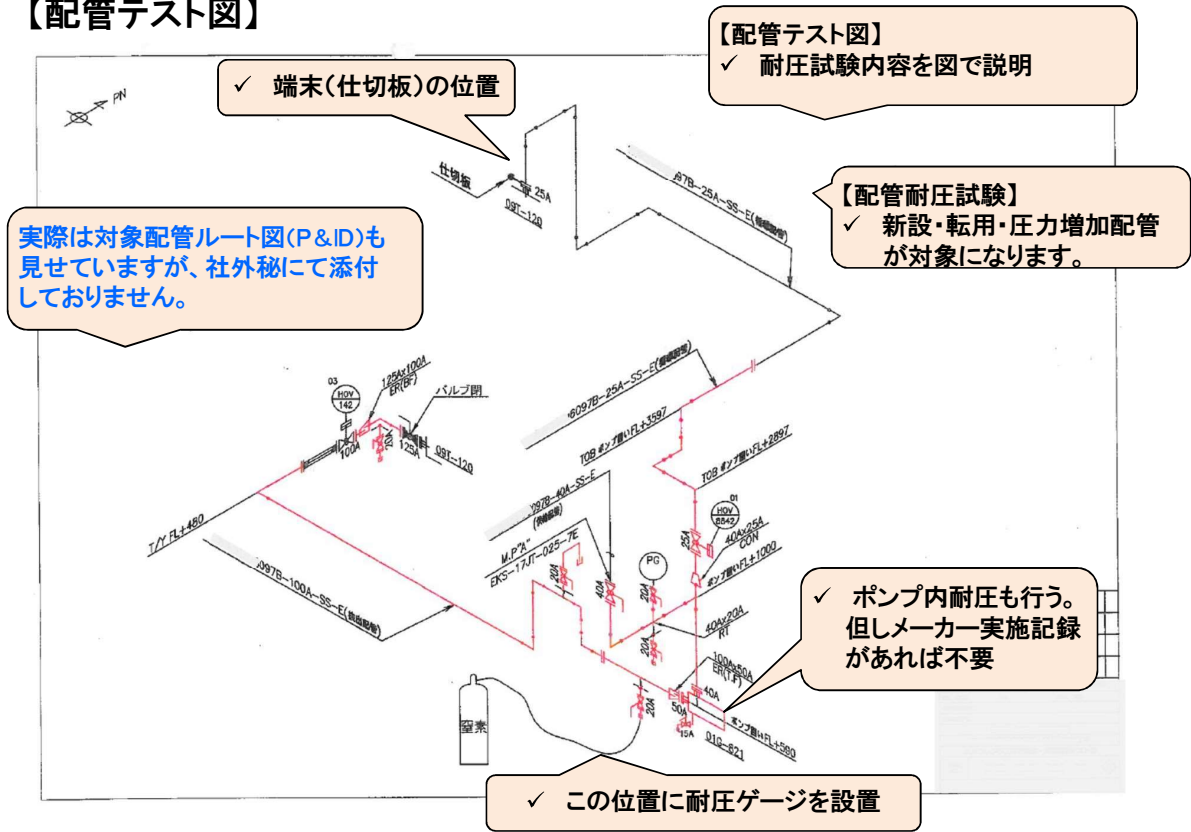
タンク検査済証 OIV-805

水張又は水圧検査の別	水張			
検査圧力	常圧			
タンク構造	形状	縦置円筒型	容量	0
	寸法	内径 880mm ・ 高さ 1,054mm		
	材質記号及び板厚	天板 SUS316 4mm 胴板 SUS316 4mm 下部コンカル板 SUS316 4mm		
製造者及び製造年月日	株式会社. 平成30年3月16日			
タンク検査番号	川崎市証明消危第368号 平成30年3月26日			
川崎市長 福田 紀彦				

【タンク検査済証】
 ✓ 製造者からの入手

10. 耐圧試験結果（配管耐圧試験）

【配管テスト図】



10. 耐圧試験結果（配管耐圧試験）

【検査報告書】

顧客名称 _____ 会社 殿
 工事名称 _____ 工事

検査物件

符号	名称	規格・材質
1	抜出・供給・循環配管	125A・100A・80A・50A・40A・25A・20A・15A SUS 304 10S
2	連通配管	80A・20A SUS 304 10S
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		

検査項目

符号	名称	最大常用圧力	耐圧試験	試験媒体	試験日
1	抜出・供給・循環配管	0.25 MPa	0.40 MPa	窒素	8月26日
2	連通配管	0.10 MPa	0.15 MPa	窒素	8月26日
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					

上記配管は、60分保持、検査の結果 漏洩変形等 異常の無いことを御報告致します。

承認	担当	検査



【耐圧保持時間】
 ✓ 耐圧10分、気密30分、
 それ以上の時間になっています。

10. 耐圧試験結果（配管耐圧・機密試験）

【耐圧・機密試験記録表】

顧客名		工場 殿										記録書番号 EKS1000-0000				
工事名称		工事										2018年8月30日				
工事番号		EKS-17J-K7284										株式会社				
ライン名称		対象範囲		圧力(Mpa)			試験媒体	判定	試験日	開始時間	終了時間	立会者	顧客	圧力計登録番号	記録写真番号	
		から	まで	最大常用	試験	実測値								圧力計-1	圧力計-2	
抜出・供給・循環配管	EKS-17JT-00000000	タンク元バルブ	取合い部	0.25	0.40	0.44	窒素	合格	8月26日	15:46	16:55			GH12148	GH12149	1・2・3
連通配管	EKS-17JT-00000000	09T-120タンク元バルブ	09T-121タンク元バルブ	0.10	0.15	0.18	窒素	合格	8月26日	17:06	18:16			GH12148	GH12149	4・5・6
		以下余白														
		顧客										製作者				
署名		署名										署名				
日付		日付 30-Aug-18										日付 30-Aug-18				

10. 耐圧試験結果（配管耐圧試験）

【記録写真】

記録写真 PAGE 1/2

工事名:)工事

撮影年月日 平成30年8月26日


検査項目: 抜出・供給・循環配管

検査開始時間: 15:46

気密試験
試験圧力: 0.4MPaG
試験媒体: 窒素

圧力計 No. GH12148 & GH12149

(写真 - 1)



撮影年月日 平成30年8月26日


検査項目: 抜出・供給・循環配管

検査開始時間: 15:55

気密試験
試験圧力: 0.4MPaG
試験媒体: 窒素

圧力計 No. GH12148 & GH12149

(写真 - 2)



撮影年月日 平成30年8月26日


検査項目: 抜出・供給・循環配管

検査終了時間: 16:55

気密試験
試験圧力: 0.4MPaG
試験媒体: 窒素

圧力計 No. GH12148 & GH12149

(写真 - 3)



- 【耐圧試験保持時間】
- ✓ 開始前圧力・時間
 - ✓ 圧力試験内容パネル(図面整合)
 - ✓ 開始後圧力・時間
 - ✓ 60分以上漏れなし確認写真

11. 消防用設備等試験結果報告書・検査記録写真（泡消火設備）

別記様式第5

泡消火設備試験結果報告書

試験実施日 平成30年 8月 30日

試験実施者

住所

氏名

用途	(12) 項イ	構造	S造
延べ面積	固定式 (気圧放出方式)	階数	地上 4 階 地階 階
試験項目	H種別・容量等の内容結果		
水	水源の種類・構造		○
	量		○
加	設置場所	(有)・無	○
	設置場所	(有)・無	○
ポンプ	製造者名	荏原製作所	○
	型式	200V3F3E	○
電動機	製造者名	YASUKAWA	○
	型式	FEK-OW	○
ポンプ・電動機	設置状況		○
	接地工事	A	種接地 ○
配管	配管・バルブ類		○
	オリフィス等		○
性能試験装置	配管・バルブ類		○
	材質	銅板製・合成樹脂製	○
呼水装置	水量	150 L	○

泡消火設備

試験項目	目種別・容量等の内容	結果	
外	溢水用排水管用呼び	80 A	○
	呼水管用呼び	50 A	○
ポンプ	補給水管の呼び	20 A	○
	減水警報装置	フロートスイッチ・電極	○
制御装置	設置場所	屋外	○
	制御盤		○
圧力を	予備品等		○
	接地工事	A	種接地 ○
用	圧力計・連成計		○
	性能	1.6 級	○
減	圧指	(有)・無	○
	起直		○
送	起動用圧カタンク	第2種圧力容器 高圧ガス圧力容器	○
	閉閉装置	タンクの容量	150 L
る	配管・バルブ類	管の呼び	40 A
	自動式	閉鎖型スプリングヘッド	○
水	自動式	自動火災感知装置	○
	手動式	設置場所等	○
も	設置高さ	床面からの高さ	1.1 m
	構造		○
の	表示		○
	設置		○
高	構造		○
	内容積・落差		m
架	配管・バルブ類		○
	水位計		○
圧	種類・構造	第2種圧力容器 高圧ガス圧力容器	○
	内容積・有効圧力		MPa
力	自動加圧装置	有・無	○
	配管・バルブ類		○
用	水位計・圧力計		○
	設置	(有)・無	○
配	設置	特に異常なし	○
	配管		○
管	バルブ		○
	吸		○
防	フード		○
	食	(有)・無	○
耐	震	(有)・無	○
	震		○

11. 消防用設備等試験結果報告書・検査記録写真（泡消火設備）

泡消火設備

試験項目	目種別・容量等の内容	結果	
電	非常電源の種類	専用受電・自家発電・蓄電池	○
	階	1 2 3 4 CV801 計	-
放	放水区域等の数	2 1 1 1 1 6	-
	発泡方式(高発泡・低発泡)	低 低 低 低 低	○
機	設置方法		○
	取付方向		○
制	泡ヘッド		○
	高発泡用泡放出口		○
一	設置場所等		○
	設置高さ	床面からの高さ	1 m
自動	構造		○
	表示		○
防	設置場所等		○
	種類・口径		○
貯	構造・性能		○
	音響警報装置		○
貯	火災表示装置		○
	開口部の措置		○
貯	自動閉鎖装置を設けない開口部		○
	開口部の構造		○
貯	設置場所		○
	消火剤の適合性		○
貯	機器貯蔵量		L
	圧力計の指示		MPa
貯	設置場所		○
	混合方式		○
貯	種類	たん白	○
	希釈容量濃度	6 %	○

泡消火設備

試験項目	目種別・容量等の内容	結果	
貯	貯蔵槽等		○
	設置場所		○
貯	泡消火栓の設置個数		-
	設置場所		○
貯	周囲の状況・操作性		○
	開閉弁設置高さ	床面からの高さ	m
貯	ホースの接続口		○
	周囲の状況		○
貯	設置状況		○
	材質等		○
貯	赤色打		○
	表示		○
貯	ホース(結合金具を含む)		○
	ホース接続口		○
貯	ノズル		○
	結合状態		○
貯	収納状態		○
	減水警報装置作動状況	底面からの高さ	50 cm
貯	呼水装置		○
	自動給水装置作動状況		○
貯	呼水からの水の供給状況		○
	起動・停止操作時の状況等		○
貯	電源切替時の運転状況		○
	ポンプの起動状況等		○
貯	起動表示の点灯状況		○
	起動用圧閉閉装置の	設定圧力	0.54 MPa
貯	作動圧力	0.54 MPa	○
	運転状況		○
貯	※締切運転時の状況	電圧計なし	V
	電流計なし	A	○
貯	※定格負荷運転時の状況	電圧計なし	V
	電流計なし	A	○
貯	※水溫上昇防止装置試験	遮水量	L/min
	※ポンプ性能試験装置試験	表示値の差	L
貯	高圧水栓を用いるもの	静水圧測定	最下位 MPa 最上位 MPa
	低圧水栓を用いるもの	給水装置作動状況	
貯	自動加圧装置作動状況		○
	静水圧測定	最下位 MPa 最上位 MPa	○

11. 消防用設備等試験結果報告書・検査記録写真（消火機器）

別記様式第1

消火器試験結果報告書															
		試験実施日		H30年8月30日											
		試験実施者													
		住所													
		氏名													
用途	12項イ	事務所	構造	耐火構造で内装制限したもの・その他		延べ面積		561	必要能力単位	6	緩和対象の消火設備	有	有・無		
付加設備部分の有無	有 (少量危険物・指定可燃物・電気設備・火気使用設備) ・ 無														
階	用途	消火器の種類及び個数						能力単位		結果					
		a	b	c	d	e	f	合計	A	B	C	適合性	設置場所	標準	滅火機器
1	工場	1					1	5	12	○	○	○	○	○	○
2	工場	1					1	5	12	○	○	○	○	○	○
3	工場	1					1	5	12	○	○	○	○	○	○
4	工場	1					1	5	12	○	○	○	○	○	○
5	工場	1					1	5	12	○	○	○	○	○	○
合計		5	0	0	0	0	5	25	60	1					
備考 ① S-3 酸化設備南側、増築部に消火器を設置しました。															

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。 2 選択肢のある欄は、該当する事項を○印で囲むこと。 3 aは粉末消火器、bは泡消火器、cは強化炭素消火器、dは二酸化炭素消火器、eはハロゲン化消火剤及びfは水消火器をいう。また、能力単位C欄は、該当する消火器が設置してある場合に○印を記入すること。 4 結果の欄には、良否を記入すること。

仕様書

用 途	規格	規格記号	規格値	区 別	型 式
国家検定型式番号	消火器	消火器26-32キ	能力単位	Ⅱ	A-5-B-12-C
名 義 積 算	品名	品名	規格	規格	規格
質量	6.0kg	質量	約17kg(約20kg)		
最高積算	約8.1kg	質量	5-8m(約20kg)		
本体容量	アルミニウム製	耐圧試験圧力	1.6MPa		
内 容 積	7.2L	使用圧力	0.7~0.98MPa		
外形寸法	ポリスチレン製材料(赤色、カラークリアー)	ホース長さ	380mm		
標準主成分	リン酸アンモニウム(非燃性耐火40℃以上使用)	エコマーク認定番号	第14127002号		

使用方法 1.安全栓を引く。 2.ホースをはずし火栓に向ける。 3.レバーを握る。

規格 消火器

名称 粉末(ABC)消火器 20型(6.0kg、ストッ付) アルテシモ 品番 MEA20
モリタ宮田工業株式会社 〒253-8558 静岡県沼津市下野田1-1-1 TEL: (0467)85-1210 (※お電話の際は)

11. 消防用設備等試験結果報告書・検査記録写真（自動火災報知設備）

別記様式第11

(その1)①

自動火災報知設備試験結果報告書				
		試験実施日		平成30年8月30日
		試験実施者		
		住所		
		氏名		
用途	(12)項イ	工場		
延べ面積	㎡	階数	地上	4階 地下 階
設置受信機	(普通式) ・ 二信号式 ・ アナログ式 ・ 自動試験機連付き ・ 遠隔試験機連付き ・ その他()	受信機	R・GR型	自火報点数 点 ・ その他点 点
定電圧	AC 100V	電源	DC 24V	6.0AH
予備電池	(NiCd) ・ その他()	警報機	P型) 級 扇内型 個	遠外型 個
中継器				
機 種	種 別	自 送	種 別	個 数
差動式	スポット型 ()		2種	24個
差動式	分布型 ()		2種	1個
式	型 ()			個
式	型 ()			個
式	型 ()			個
式	型 ()			個
式	型 ()			個
式	型 ()			個
式	型 ()			個
式	型 ()			個
音響装置				
種 別	種 類	電 圧	電 流	個 数
主音響装置(内蔵されているものを除く)	ベル(既設)	DC V	mA	個
副音響装置(内蔵されているものを除く)	ベル	DC V	mA	個
		DC 24V	10 mA	4個
地区音響装置		DC V	mA	個
		DC V	mA	個
放送設備との連動	有		()	
鳴動方式	一斉鳴動		()	

自動火災報知設備

②

試験項目	種 別 ・ 容 量 等 の 内 容	結果		
外	警戒区域	警戒区域の設定	良	
	受信機	設置場所	防災センター	良
		問題の状況・操作性		良
		設置状況		良
		構造・性能		良
	操作部	床面からの高さ 1.2 m	良	
予備品等		良		
中継器	設置場所等			
	構造・性能			
	予備品等			
電源	常用電源	AC 100 V	良	
	非常電源の種類	非常電源専用受電設備 (電圧降下)	良	
感 知 機	警 報 状 況	差動式スポット型		
		定電圧スポット型		
		複線式スポット型		
		熱線式スポット型		
		熱アナログ式スポット型		
		定電圧感知線型		
		差動式分布型(空気管式)		
		差動式分布型(熱線片式)		
		差動式分布型(熱半導体式)		
		差動式感知線型(光電式分線型及びアナログ式を除く)		
通 信 機	イオン化アナログ式スポット型	光電アナログ式スポット型		
		熱線複合式スポット型		
		光電式分線型		
		光電アナログ式分線型		
		感 知 機		
発 信 機	感 知 機	設置場所等	良	
		構造・性能	良	
		設置場所等	良	
		構造	良	
表示灯	設置場所等	構造	良	
		設置場所等	良	
地区音響装置	設置場所等	構造	良	
		設置場所等	良	

11. 消防用設備等試験結果報告書・検査記録写真（自動火災報知設備）

別記様式第28 ①

配線の試験結果報告書

試験実施日 20 年 8 月 30 日
試験実施者 _____

生所 _____
氏名 _____

消 防 等 の 設 備 種 別	○	屋内消火栓 スプリンクラー設備 水噴霧消火設備 泡消火設備 二酸化炭素消火設備 ハロゲン化物質消火設備 粉末消火設備 屋外消火栓設備 ○自動火災報知設備 ガス漏れ火災警報設備 漏電火災警報設備 非常警報設備 放送設備 誘導灯 排障設備 非常コンセント設備 無線通信補助設備	
	●		

試 験 項 目	種 別 ・ 容 量 等 の 内 容	結 果	
外 観 試 験	電源回路の設置場所等	良	
	開閉器	良	
	遮断機	良	
	保護配線の経路	電源回路・操作回路・表示灯回路・警報回路	良
	電線の種類・太さ		良
	配線方法		良
	接続		良
	工事方法		良
	電線の種類・太さ		良
	配線方法		良
耐 火 耐 熱 保 護 配 線 試 験 (耐火耐熱保護配線を除く。)	接続	良	
	探検	良	
耐 震 措 置		良	
		良	
機 能 試 験	接地抵抗試験	電圧の種類 低圧・高圧・特別高圧	
		接地抵抗値	Ω
		電源回路	V MΩ
		操作回路	V MΩ
		表示灯回路	24 V 50 MΩ
	警報回路	24 V 50 MΩ	良

②

試 験 項 目	種 別 ・ 容 量 等 の 内 容	結 果	
機 能 試 験	絶縁抵抗試験	24 V 50 MΩ	良
	付属装置回路等	V MΩ	
絶 縁 耐 力 試 験			

試験実施者が有している資格： 消防設備士甲種1類 第 00268 号
消防設備士甲種2類 第 00035 号
消防設備士甲種3類 第 00014 号
消防設備士甲種4類 第 00003 号

※今回の絶縁抵抗試験は、新設した配線及び機器類を測定した数値です

- 備 考
- この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
 - 選択肢のある欄は、該当する事項を○印で囲むこと。
 - 結果の欄には、良否を記入すること。

11. 消防用設備等試験結果報告書・検査記録写真（自動火災報知設備）

自動火災報知設備 ③

試 験 項 目	種 別 ・ 容 量 等 の 内 容	結 果
機 能 試 験	共通線試験	良
	送り配線試験	良
	火災表示試験	良
	注意表示試験	良
	警報表示試験	良
	回路導通試験	良
	同動作試験	良
	感知器動作試験	良
	予備電源試験	良
	非常電源試験	良
機 能 試 験	相互動作試験	良
	設定表示速度試験	良
	回路導通試験	良
	予備電源試験(予備電源を有するもの)	良
	感知器	良
	発信機	良
	地区音響装置	良
		良
		良
		良

- 備 考
- この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
 - 選択肢のある欄は、該当する事項を○印で囲むこと。
 - 非常電源(内蔵型以外)の及び配線についての試験結果報告書を添付すること。
 - 蓄積式中層部の機能試験は、感知器の動作試験及び受信機の動作試験により確認するものとする。
 - 蓄積式の感知器の試験は、それぞれの種類に対して行われるものとする。

自動火災報知設備 (その2)-1

受 信 機 の 表 示 番 号	分 布 型	差 動 式	感知器(多信号又はアナログ式以外のもの)										地 区 音 響 装 置	結 果	
			定温式種別ごと		定温式		感 知 器		イ オ ン 化 式		分 類				
			特 種 普 通 型	普 通 型	特 種 普 通 型	普 通 型	特 種 普 通 型	普 通 型	特 種 普 通 型	普 通 型	特 種 普 通 型	普 通 型			
111	普通型	差動式	9	9										1	○
112	普通型	差動式	8	8										1	○
113	普通型	差動式	7	7										1	○
114	普通型	差動式	1											1	○
合 計			24	24										4	—

- 備 考
- この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
 - 受信機の表示番号ごとに順次を記入すること。

12. 接地・絶縁抵抗測定成績書（機器接地抵抗測定）

電動機・ポンプ等機器接地抵抗測定記録書

工事名称 対応工事

1. 機器名称
 1. _____
 2. _____ポンプ
 3. _____ポンプ
 4. _____回収槽
 5. _____

2. 測定日時 平成30年8月28日 時刻 AM PM 4:00 天候 (曇り)

3. 測定者 会社名 _____株式会社
 氏名 _____ TEL _____

4. 測定機器 型式 共立電機(株) KEW4202 精度 1Ω以上~10Ω未満
 10Ω以上~50Ω未満
 製造番号 8128507 動作原理 CTクランプ方式

5. 接地抵抗測定記録

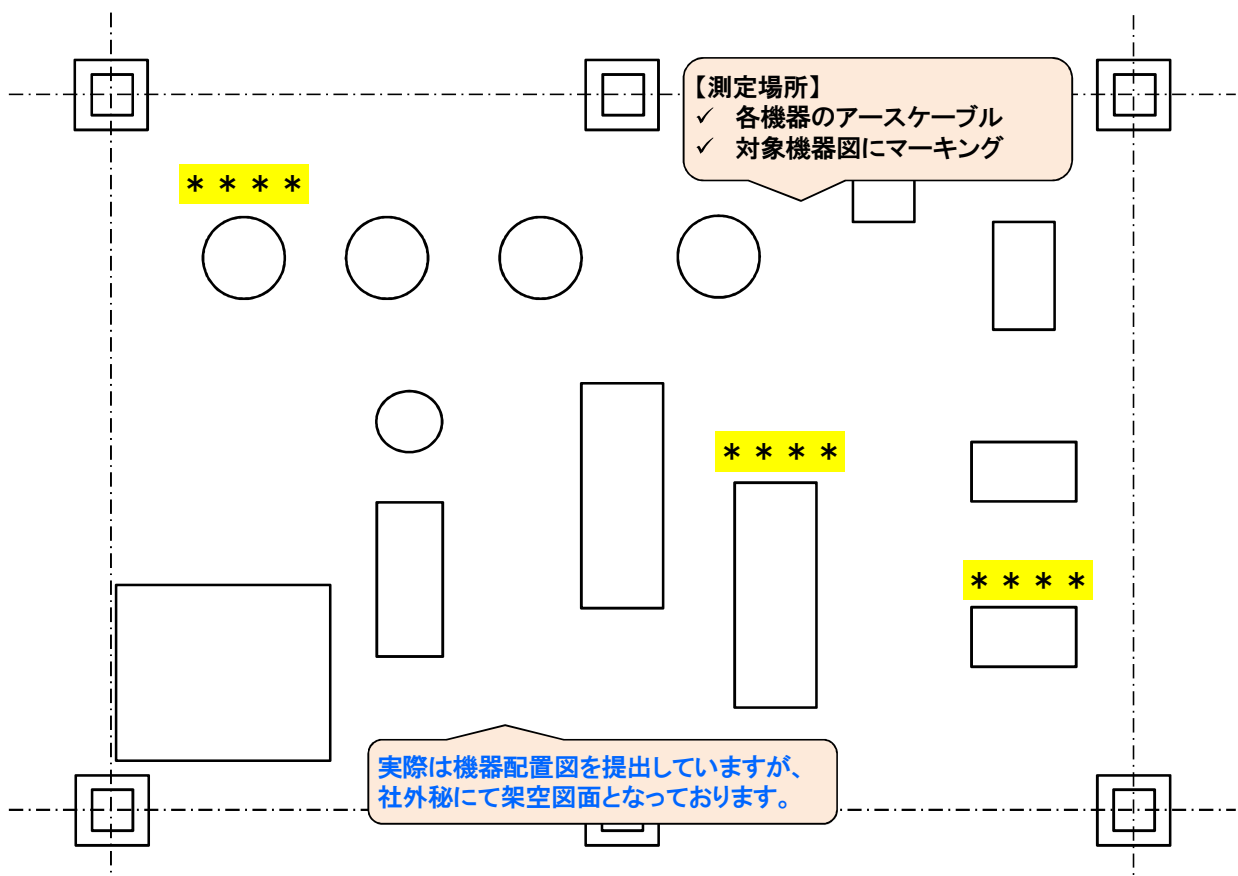
工事種別	C種	内線規程対応省令:第10条→10Ω以下
判定基準		基準→7Ω以下
工事種別	D種	内線規程対応省令:第10条→100Ω以下
判定基準		基準→70Ω以下

No.	機器番号	機器名称	接地箇所	工種	測定値(Ω)	判定
1			接続箱内アース端子	C種	2.2	合格
2		ポンプ	接続箱内アース端子	C種	2.2	合格
3		ポンプ	接続箱内アース端子	C種	2.2	合格
4		回収槽	機器アースピース	D種	2.2	合格
5						

5. 機器配置図

別途添付配置図参照

12. 接地・絶縁抵抗測定成績書（機器接地抵抗測定場所）



12. 接地・絶縁抵抗測定成績書（避雷導体設置状況）

避雷設備のJIS規格適用区分は下記とする。

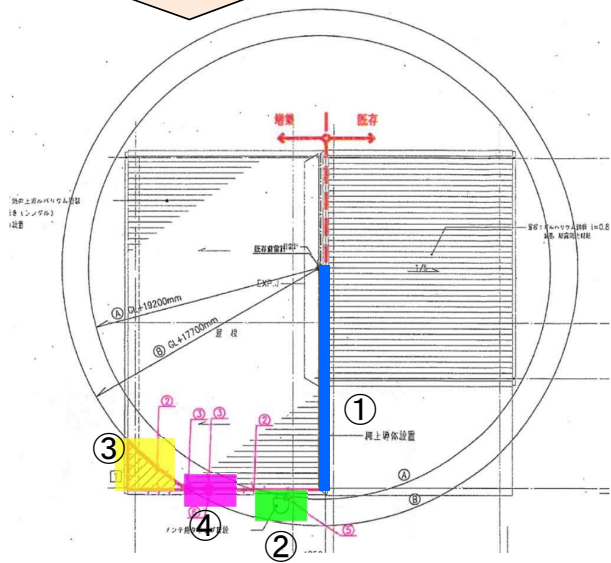
- ・既存部分：既存避雷設備利用（JIS A4201-1992）とする。
- ・増築部分：既存避雷設備（JIS A4201-1992（以下旧JIS））の保護範囲外のみ
新設避雷設備（JIS A4201-2003（以下新JIS））にて保護する現結混合設備とする。
※既存避雷針は、旧JISの避雷設備と新JISの避雷設備を兼ねた設備とする。
- ・協議：川崎市消防局危険物課 2016/10/18, 2017/01/19
TBTC 2017/01/10

番号	記号	名称	仕様
①		既存避雷針	全長10.4m（危険物申請図より）
②		線上传体	アルミ線 2.0φ×25C 支柱金物 水平600mm 垂直1000mm
③		T型接続端子	（耐食アルミ合金製）
④		+型接続端子	（耐食アルミ合金製）
⑤		避雷端子	（耐食アルミ合金製）
⑥		引き下げ導線	アルミ線 2.0φ×19C 支柱金物 垂直1000mm（点線は配管保護）
⑦		接地端子箱	露出型 SUS製
⑧		接地板	黄銅ろう付 900×900×1.5t 埋設深さ：750mm

特記：
・引き下げ導線は、GL-750~GL+3000mmまでVE管にて保護する。

- ① R=10.5m GL+19200mm（既存側水下、増築側水上）
② R=11.7m GL+17700mm（増築側水下）

実際は配置図と立面図も確認、施工記録写真図と避雷接地抵抗測定記録書も見せていますが、社外秘にて添付しておりません。



確認箇所に番号を記載して確認